

鮮やかな意図、心に響いた名演奏

ピアノ 長野量男



題して、3人の30代の作品でまとめた。やろうとする意図が明確なのがこの人の特徴で、聴くほうも心構えができていい。同じ30代でも順調な活動を続けたハイドン、難

聴に苦しんだベートーベン、31歳で世を去ったシューベルトと、その人生はさまざま。その状況が反映された作品の特色を巧みに演出し、聴く人の心に響く演奏だった。

由な感じで、ベートーベンのいわゆる「エロイカ変奏曲」は揺れ動く心理を、シューベルト「ピアノソナタ第20番」では、死を意識した心境が淡々と時に激しく…。

クな音を鳴らしたのが印象的だった。確かな技術があるからだろう。さらにフルートの古楽器であるフラウト・トラヴェルソの素朴な音色が聴けたのも収穫だった。時代を超えたレパートリーの広さが彼女の強みだ。

曲想に合わせた響きを重視した奏法になった。明快で、「絵」を音でどう表現するか工夫したと思われる。

豊富なレパートリーと話術で魅了

めた。

豊田市出身。東京芸大、同大学院を出て幅広く活動中。今回はすべて無伴奏で、ともすれば単調になりがちだが、バロック



フルート 岩崎花保

フルート 岩崎花保のコンサート(4月15日・5/Rホール)は、フルートだけで多彩な音が楽し

クから現代までバラエティーに富んだプログラムで、少しも退屈させなかった。

変わった。最初のバッハニゾーニ「シャコンヌ」は、い

中心になった。これまでは強い音が目立ったが、今回は「音の絵」「展覧会の絵」とも

も表現力が増したのは確か。多少オーバーに言えば、何か吹っ切れて出口が見えてきた印象を受けた。また課題はあるものの、上向きになった彼女の今後が楽しみに思った。



結果的に、石川のスタイルや今回の選曲がしらかわホールに合っていた気がする。いずれにして

家だが、ドンジョーン、フェルーなど名前も知らない人の作品も。フルートは優しい音色というイメージだったが、ダイナミック

曲想に合わせ、明快な響き追求

ピアノ 石川馨栄子

毎年恒例の石川馨栄子ピアノリサイタル(4月1日・しらかわホール)。いつもとは時節も会場も

つものパターンだが、ラフマニノフ「練習曲・音の絵作品33」に、メインのムソルグスキー「展覧会の絵」とロシア作品が

多少オーバーに言えば、何か吹っ切れて出口が見えてきた印象を受けた。また課題はあるものの、上向きになった彼女の今後が楽しみに思った。



長野量男、ピアノリサイタル(3月31日・電気文化会館)は、ベテランらしい充実した演奏が味わえた。

2014年秋以来となる今回はハイドン、ベートーベン、シューベルトの「道程」それぞれのこと

Classic Nagoya クラシック名古屋
〒460-0024 名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL (052) 678-5310 FAX (052) 678-5330
http://clanago.com

プレイガイド
アイ・チケット
☎ 0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台・イベントの企画・制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒464-0850 愛知県名古屋市中区今池1-14-11 CASA LUZ302
TEL.052-735-3151 FAX.052-735-3152
E-mail: mpoffice@pa2.so-net.ne.jp

仲代達矢、俳優人生飾る渾身の演技



「海辺のリア」で老いた主人公を演じる仲代達矢

6月3日公開「海辺のリア」

共演に原田美枝子、阿部寛、黒木華ら

パジャマの上にコート
を羽織り、スーツケース
を引きずりながら海辺を
さまよう老人。どこから
来たのか、自分が誰なの
かも分からない。家族に
見放されたとき、え分か
らないのだ。

仲代達矢 84歳。俳優生
活65年の名優が、自身の
最終ドキュメンタリーと
も言えるメモリアルムー
ビー「海辺のリア」(監督
脚本・小林政広)に主演
する。

主人公は、半世紀以上
に渡り俳優として数々の
舞台や映画の主役を務め
てきた名優・桑畑兆吉(仲
代)。しかし、かつての大
スターも年老いて認知症
に侵され、長女夫妻は彼



五條園八王 花柳貴人生 神戸 樹里

日大芸術学部の絆で描く創作舞踊劇

5月27日、市民会館で「長寿の会」

表出させる。
施設を抜け出した兆吉
は、あてもなく歩き続け、
かつて勘当した娘・伸子
と出会う。伸子に、リア王
が愛した末娘・コーデリ
アの幻影を見た兆吉は、
自らがリア王となり、大
海原に向かって朗々とそ
の戯曲を語り始めるの
だ。

共演には原田美枝子、
オン座ほかで公開。

阿部寛、黒木華、小林薫ら
の実力派が名を連ねる。
伸子は「人は誰でも変
わらないものを持ってい
る。兆吉(私)にとってそ
れは演じること。リア王
のセリフをどうしようと述
べるクライマックスに
は、そんな思いが籠もっ
ているのです」と語った。
6月3日から伏見ミリ
オン座ほかで公開。



西川 鯉史郎

日大芸術学部出身の舞
踊家が、ジャンルや会派を
超えて力を結集。西川
長寿が創設し、長男・長秀
が継続する「長寿の会」第
46回公演が、5月27日(午
後1時)市民会館ビレッジ



会主の西川長秀



「楽しく、気軽なコンサートに」と熊本マリ

ピアニスト熊本マリ、日本民謡を弾く

5月20日・芸術劇場で午後のコンサート

日本民謡をピアノで弾
くと、こんな素敵な曲に
なる。「情熱のピアノニ
スト」熊本マリが5月20
日(午後1時)芸術劇場
コンサートホールでリサ
イタルを開く。

「お昼のひとときによ
さわしいコンパクトな名
曲、めったに演奏される
ことのない珍曲、そして
民謡。気取らず楽しいコ
ンサートにしたい」と来
場を呼び掛けるマリだ。

幼少から体に染み込ん
だ国際感覚と旺盛な好奇
心で、ピアニストとして
はもろろん、映像や活字
の世界へも羽ばたく。昨
年デビュー30周年を迎
え、音楽への情熱はます
ますヒートアップする。
前半は、リスト「ハンガ
リー狂詩曲」、ショパン

「フクタン」などロマ
ン派の名曲を、後半はア
ルベニス「タンゴ」、ハ
チャトゥリアン「剣の舞」
そしてアイルランドや日
本の民謡を演奏する。

2010年に初めて訪
れたエジプトで奥村一編
曲の「おてもやん」を弾
き大好評を博した。「そ
の演奏と感動を名古屋で
再現したい」。世界各国
で体験した奇想天外なエ
ピソードが聞けるのもマ
リの演奏会の楽しみ。

全指定席3,000円、
学生1,000円。TEL 05
2(320)9933。中
京テレビ事業。

HITOMI HALL Prism Stage
HITOMIホール
プリズムステージ
多彩に煌めくステージをHITOMIホールで —
MBA イベント事業部が企画するHITOMIホール プリズムステージ、
その他の公演についても随時、情報発信しています

http://event.menicon-ba.co.jp/

チケットお申込み・お問合せ
[メニコンビジネスアシスト(MBA) イベント事業部]
電話 052-935-1630 (平日10:00~17:00)
メール mba-event@menicon-net.co.jp

オン・ミュージカル On Musical 「在ル愛ノカタチ」
7/6(木) 1回目 18:45開演 [18:15開場]
2回目 14:30開演 [14:00開場]
7/7(金) 3回目 18:45開演 [18:15開場]
料金/前売3,500円 当日4,000円 全自由席
出演/加藤恵利子(ヴォーカル) 家田めぐみ(ヴォーカル) 石田麻利子(ナレーション)
水野慎太郎(ヴァイオリン) 宗川論理夫(アレンジ) 重左恵里(ピアノ)

先日の管利に感懐されるこ
となく、歌うことで周囲
を元気にする魅力的なシ
ンガーだ。

出身は宮崎県都城市。
現在は横浜市内に音楽サ
ロン「ピアノ・ドール」
を開設。同サロンを拠点
に「NPO法人音楽の力」
を設立し、チャリティー
活動に勢力を注いでい

98 佐川 由紀子

音楽には、人と人との
結びつける力がある。そ



して結ばれた人間関係が
互いの財産になる。横浜
を拠点に活動を展開する
佐川由紀子がそうだ。目

歌の力で幾重にも 結ばれる共感の輪

「おかげさまで日本
中が『第二の故郷』にな
りました」と実感する佐
川だ。

支援者の輪が幾重にも
つながる。政治力や経済
力ではない。音楽を愛し
人を慈しむ心が共感を呼
ぶのである。3月、エル
ムの「平和希求ライブ」
出演のために来名。シャ
ンソンを愛する名古屋の
ファンに大きな刺激を受
けた」と喜ぶ。

4人姉妹の末っ子。「突
然シャンソンに目覚めた
のは30歳を過ぎてから。
それまではカラオケも嫌
いな人でした」と苦笑す
る。それだけに熱中の度
合いも深い。シャンソン
をより深く理解しようと
フランスに渡り、毎日
間のホームステイを体験
したりもした。

「千の風になって」を
作詞した新井満とも親交
があり、同曲の「公認歌
手」として認知されてい
る。「秋川雅史さんがレ
コーディングする前のこ
とです。私に才覚があっ
たら、スター歌手になっ
ていたかも」と笑い飛ば
した。

演奏会・発表会・ステージ等カラードレス・アクセサリ専門店
プロ・セミプロも通うショップ!
S-4XLまでサイズも豊富で
¥10,000~¥70,000までの
リーズナブルプライス。
アクセサリ-SETは
¥4,980-

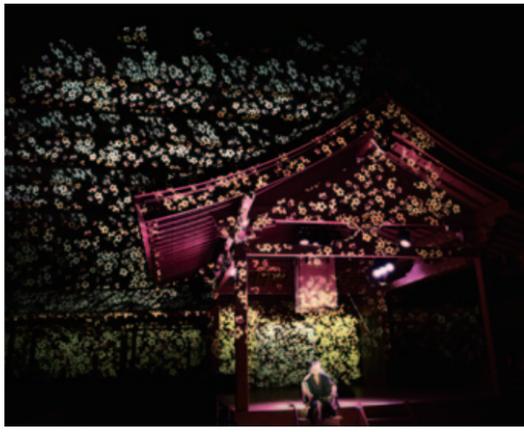
Enclair
OPEN 11:00-19:00 CLOSE 月曜日定休
名古屋市中区上社1-506-1F TEL:052-739-6155

ジホールで催される。
今回の主演目は会主・
長寿による創作舞踊「神
代結縁契(かみよをむす
ぶえにし)のちぎり」。日
本最古の歴史書・古事記
から「天孫降臨(てんそん
こうりん)」と「天の岩戸
開き」のエピソードを抜
粋し構成した舞踊劇だ。
作曲は杵屋喜鶴(長
唄)、大和久喜子(大和
楽)、清香(箏曲)。出演
は日本舞踊の西川長秀、
花柳貴人生、五條園八王、
西川鯉史郎、バレエの神
戸樹里以上が日大出身
。現代舞踊の長谷川美
樹、松宮莉花、川上典
子。演奏はMabo雅弥
(パーカッション)、四恩
朱(笛)。

第44回公演当日に脳梗
塞で倒れた西川長秀が、
門下の西川永寿と「長寿
祝寿賑を踊る」の話題。
二人はともに90歳!
全自由席3,000円。
TEL 080(6927)99
92。

西川右近演出オペラ「本能寺が燃える」

5月13日、14日 名古屋能楽堂で リニューアル公演



能楽堂に投射される「光の切り絵」

日本舞踊の西川右近が演出する名古屋発のオペラ「本能寺が燃える」(脚本・あおい英斗、作曲・宗川論理夫ほか)が、5月13日(午後6時)14日(午後2時)名古屋能楽堂でリニューアル上演される。戦国時代の雄・織田信長が、家臣・明智光秀に

葬られた「本能寺の変」を、光秀の側から描いた異色作。反逆を決意した光秀の心情と、のちに信長の正室となる濃姫とのラブロマンスが焦点だ。今回、光秀に抜擢されたのは、男性5人によるオペラユニット「レジェンド」の吉田知明(名古屋出身)。濃姫には加藤恵利子、そして名優・田村



加藤恵利子 吉田 知明 俳優・田村亮

亮が、ドラマをナビゲートする謎の僧侶を演じる。出演はほかに田中良和(織田信長)、滝沢博(斎藤道三)、能勢健司(足利義昭)。能舞台を鮮やかに

彩る酒井敦美の「光の切り絵」も、この作品の大きな見どころだ。S席6000円、A席4000円、B席2000円(935)1630、メニコンビジネスアシスト。館上演はマズネ「ドン・キホーテ」、グノー「ファウスト」(いずれもハライト)ほか。主な出演は菅沼綾子、岡本茂朗、伊藤貴之、宮崎智永、森本ふみ子、つじ村ふみ恵。全自由席4000円(当日4500円)。TEL052(733)8809。

ラルス・ミヒャエル・シュトランスキー「写真」を指揮・奏者に迎え、モーツァルトの「ホルン協奏曲第3番」を、ベートーベンの交響曲第1番と第2番を演奏する。全自由席10000円。TEL080(4096)1842。



見た。内田流の舞踊会(4月8日・市民会館)で、宗家・内田寿子が踊った「雨の四季」である。江戸の風情や情緒を描いた作品で、1967(昭和42)年に初演された比較的新しい長唄である。傘を手に、花道から登場した寿子のたたずまいがなんとも清々しい。雨が上がり傘をたたむ仕草、続いて繰り出す物売りの流麗な形態模写…。まさに日舞の粋を見た。

この日は一門の62人が45曲を踊った。家元の内田有美は、邦楽囃子方(打楽器奏者)で結成する「若獅子会」が、2011年に発表した「若獅子」に自ら振り付け披露した。新作に取り組み家元の姿勢は評価するが、意欲ばかりが先走り、舞踊、創作に取組む家元の

は、視覚効果を高めるために、それなりの舞台美術が施されるものだが、舞台美術など必要ない(それどころか邪魔になる)ほどの、優れた舞台を見た。

作の技術が置いて行かれた。家元に掛かる負担は大きい。だが一門の期待はもっと大きい。今後の精進を見守りたい。(上野)

舞台批評

日本舞踊内田流

寿子の「雨の四季」に日舞の粋

北村想「私の青空」

善と悪、笑いと緊迫の表裏

和ぐりこプロデュース「私の青空」

演出・堀伸夫

アルコバレーノ音楽企画「おんがく玉手箱」5月20日(午後2時)熱田文化小劇場。内田由美子、谷田育代、平尾憲嗣、塚本伸彦。4人のオペラ歌手が、演歌、ポップスに挑戦する。プログラムは美空ひばり「川の流れるように」「愛燦々」ほか。全自由席3000円、学生2000円。TEL090(1723)5860。

名古屋オペラプロジェクト「フランスオペラへの誘い」6月1日(午後6時30分)電気文化会館。上演はマズネ「ドン・キホーテ」、グノー「ファウスト」(いずれもハライト)ほか。主な出演は菅沼綾子、岡本茂朗、伊藤貴之、宮崎智永、森本ふみ子、つじ村ふみ恵。全自由席4000円(当日4500円)。TEL052(733)8809。

ファイナルハーモニー・ウィーン名古屋第8回演奏会「ベートーベン・ツィクルス」7月2日(午後1時30分)しらかわホール。全5回にわたってベートーベンの全交響曲を網羅。初回はウィーン・フィルのホルン奏者



「サロメ〜ローマと呼ばれた男」は、破天荒あかちゃん神の名をつぶやく旗揚げ公演「サロメ〜ローマと呼ばれた男」主宰 akari の脚本、中居晃一の演出。大正2年、サロメを演じた松井須磨子は、預言者ヨカナン(ヨハネ)の唇から溢れ

善と悪、笑いと緊迫、そして前進と後退を繰り返すフランコ、表裏を一体化させた。北村ワールドを満喫した。左

大味な芝居になるところだが、実に良くて、その個性も際立った。推しを重ねた脚本の力である。

人望厚い院長(入馬券)のもとで進歩的、解放的な治療が行われている精神病院。個性あふれる患者たちは、それぞれが戦争の古傷を背負っている。そんな町に怪しげなサーカス一団がやって来た。このサーカスの団長(入馬券二役)こそ、軍勢力で世界を制圧しようとする、大悪党なのである。「比喩なき軍勢力を備えること、世界平和が実現できる。戦争をなくすために戦争をするのだ」と団長は訴える。善と悪とは表裏一体、団長の主張は正論でもあるのだ。

広告未入

広告未入

恐怖を支配する黒い鳥の幻聴



演劇補助席

「サロメ〜ローマと呼ばれた男」は、破天荒あかちゃん神の名をつぶやく旗揚げ公演「サロメ〜ローマと呼ばれた男」

「サロメ〜ローマと呼ばれた男」は、破天荒あかちゃん神の名をつぶやく旗揚げ公演「サロメ〜ローマと呼ばれた男」

折も折、現実世界では米軍がシリアを爆撃、原子力空母を北朝鮮に向け一触即発の緊張状態が続いている。果たして我々は明日も青空を見ることが出来るのだろうか。

4月7-9日・千種文化小劇場。

「サロメ〜ローマと呼ばれた男」は、破天荒あかちゃん神の名をつぶやく旗揚げ公演「サロメ〜ローマと呼ばれた男」

「サロメ〜ローマと呼ばれた男」は、破天荒あかちゃん神の名をつぶやく旗揚げ公演「サロメ〜ローマと呼ばれた男」

「サロメ〜ローマと呼ばれた男」は、破天荒あかちゃん神の名をつぶやく旗揚げ公演「サロメ〜ローマと呼ばれた男」

「サロメ〜ローマと呼ばれた男」は、破天荒あかちゃん神の名をつぶやく旗揚げ公演「サロメ〜ローマと呼ばれた男」

「サロメ〜ローマと呼ばれた男」は、破天荒あかちゃん神の名をつぶやく旗揚げ公演「サロメ〜ローマと呼ばれた男」

